

流域モニタリング一斉調査結果（尾張地域）

1 背景

水循環再生行動計画では、水循環に対する県民意識の向上を図るため、気軽に参加できる水環境の調査として、「流域モニタリング一斉調査」の実施を位置付けています。

この一斉調査は、水質・水量・生態系・水辺といった水循環に関する項目からなる「水循環再生指標」（平成19年7月作成）を活用したもので、平成21年度から実施しています。水循環再生に向けた取組の評価や見直しに活用するだけでなく、流域全体の状況把握や流域内の連携向上を期待して行っています。

2 参加者公募状況

幅広い県民を対象に流域モニタリング一斉調査の参加を促すため、事務局（県環境部水地盤環境課（現在は水大気環境課））が平成30年3月に参加者を募集しました。

また、市町村には参加者公募の広報を依頼しました。28の市町村が広報、ホームページ、チラシ等を活用して公募を行いました。

表1 公募状況

地域名	広報	ホームページ	チラシ	複数 (広報+チラシ等)	その他	合計
尾張地域	6 (5)	2 (3)	2 (3)	3 (3)	0 (0)	13 (14)
西三河地域	5 (10)	2 (1)	1 (1)	2 (3)	0 (0)	10 (15)
東三河地域	2 (2)	0 (1)	1 (0)	2 (2)	0 (0)	5 (5)
合計	13 (17)	4 (5)	4 (4)	7 (8)	0 (0)	28 (34)

※（ ）内は、平成29年度の状況を示す。

参考

平成29年度	17 (5)	5 (3)	4 (3)	8 (3)	0 (0)	34 (14)
平成28年度	15 (6)	7 (5)	3 (2)	10 (4)	1 (0)	36 (17)
平成27年度	20 (8)	7 (5)	4 (2)	13 (5)	0 (0)	44 (20)

※（ ）内は、尾張地域の状況を示す。

< 広報参考例 >

流域モニタリング一斉調査
 環境政策課 ☎55-7114
 ▼目的/ 河川やため池など身近な水環境に興味を持っていただくため
 ▼対象/ どなたでも参加可
 ※小学生以下の方は、保護者の方と一緒に参加してください。
 ▼調査期間/ 6月5日(環境の日)～9月末
 ※期間内に調査ができない場合は、調査日を変更できます。
 ▼調査内容/ 身近な水辺(川やため池、水路、海辺など)で「水のきれいさ」、「水の量」、「生態系」、「水辺のようす」を参加者の五感により水の色やにおいなどの調査を行い、所定の調査票で報告
 ▼申し込み/ 8月24日(金)までに問い合わせ先へ

流域モニタリング一斉調査の参加者募集 環境政策課 ☎85-6216

県では、身近な水辺(川やため池など)の水の色やにおい、生き物の様子などを評価し、調査する参加者を募集しています。

調査時期：6月5日(火)〈環境の日〉～9月末

対 2人以上のグループ ※子どもは保護者同伴

申 所定の参加申込書に記入し、調査日から起算して20日前か8月24日(金)のいずれか早い日までに、環境政策課へ ※詳しくは県ホームページ(<http://www.pref.aichi.jp/soshiki/mizu/h30monitoring.html>)を見てください。

3 参加の状況について

表2 実施状況

地域名	実施状況（平成30年度）			
	市町村数	参加団体数	延べ参加人数	延べ調査地点数
尾張地域	8（6）	53（55）	592（648）	95（91）
西三河地域	7（11）	44（45）	257（494）	47（80）
東三河地域	5（4）	7（8）	88（131）	18（25）
合計	20（21）	104（108）	937（1,273）	160（196）

※伊勢湾流域圏一斉モニタリング（中部地方整備局）、水質環境目標値市民モニタリング（名古屋市）の数値を含む。

※（ ）内は、平成29年度の状況を示す。

参考

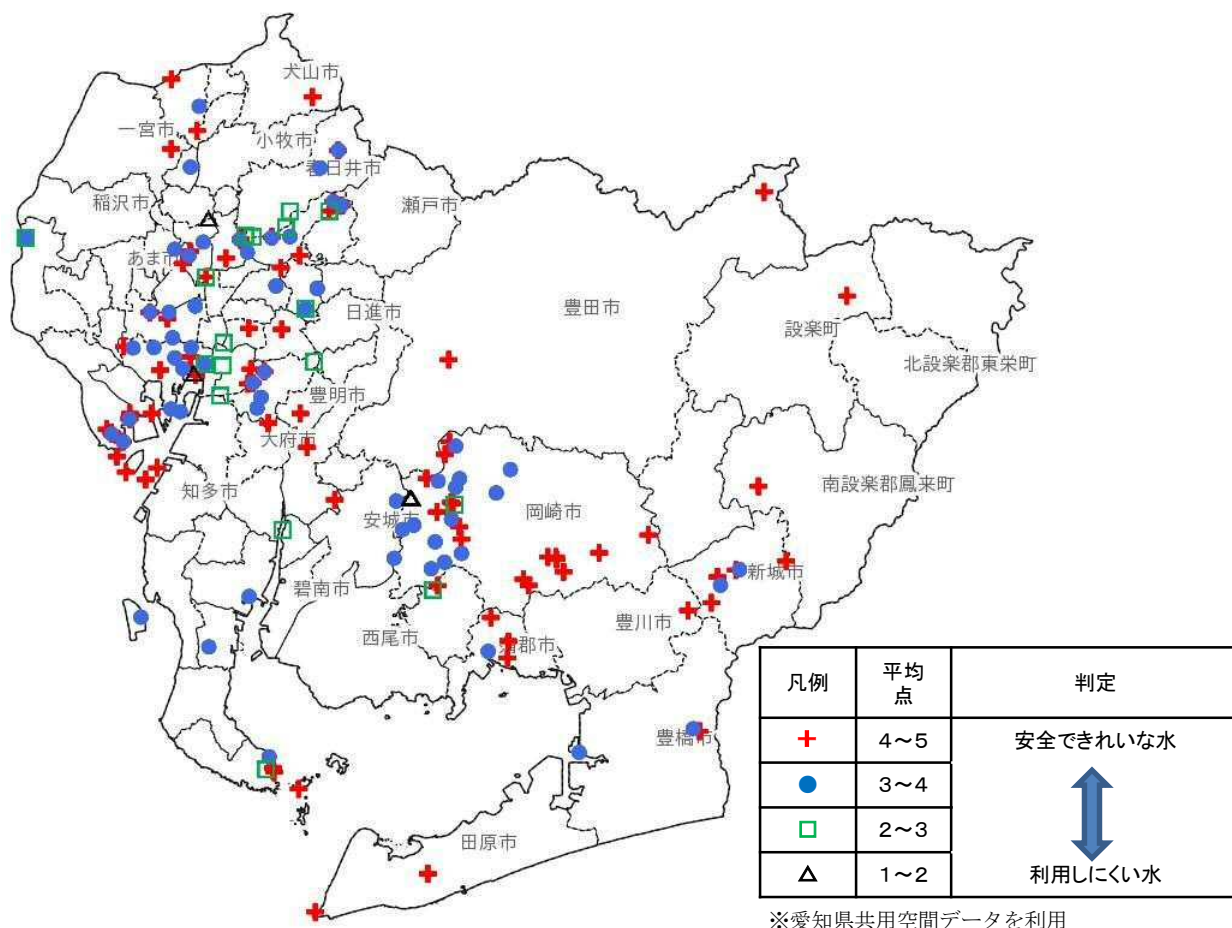
平成29年度	21（6）	108（55）	1,273（648）	196（91）
平成28年度	24（8）	122（62）	1,271（592）	196（89）
平成27年度	27（11）	127（63）	1,207（660）	213（88）
平成26年度	16（6）	120（48）	691（421）	146（54）
平成25年度	21（9）	103（47）	913（457）	141（60）
平成24年度	22（7）	141（44）	1,002（450）	230（64）
平成23年度	22（8）	134（47）	860（280）	256（103）
平成22年度	25（9）	103（15）	1,000（266）	210（22）
平成21年度	25（13）	83（63）	884（389）	287（148）

※（ ）内は、尾張地域の状況を示す。

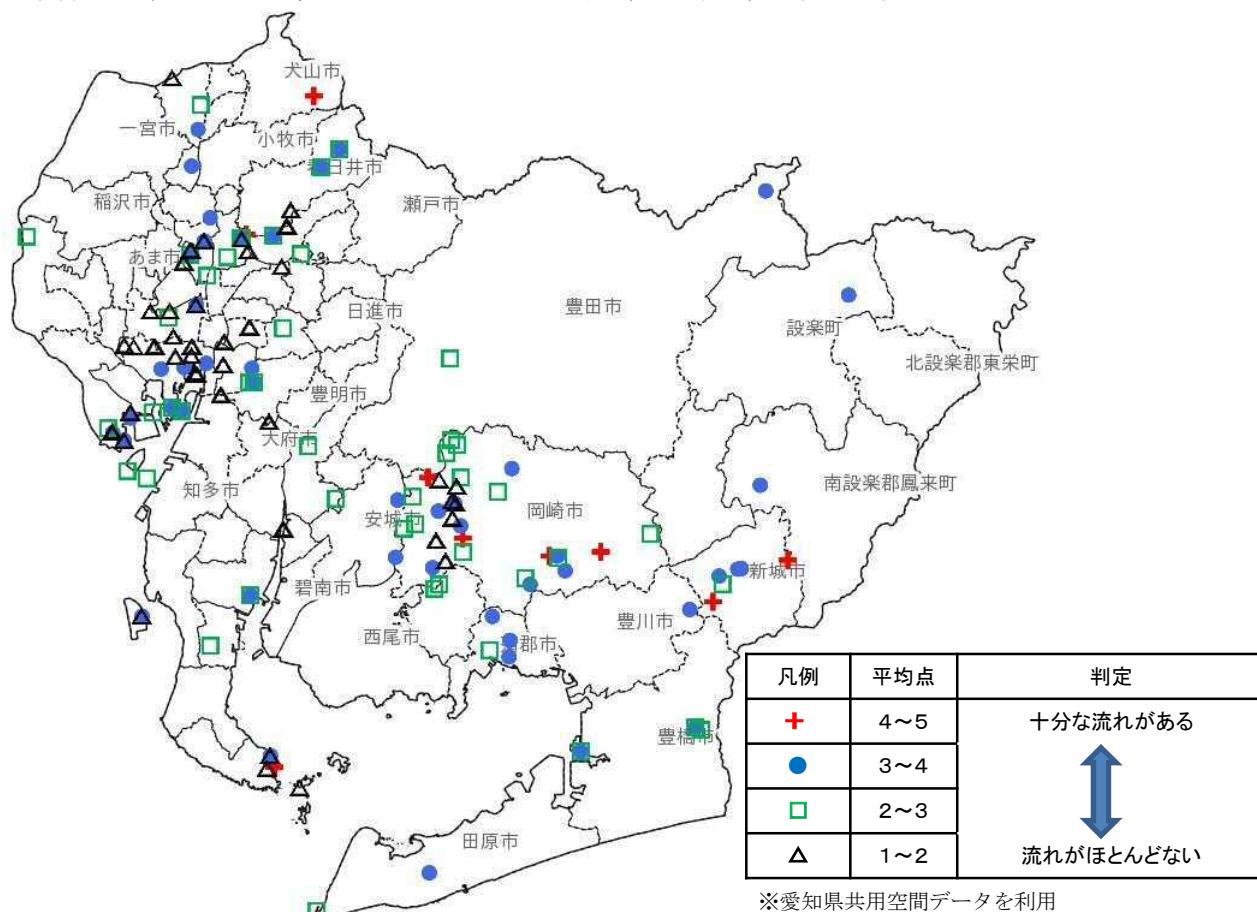
4 調査結果

- ・延べ参加人数（三地域の合計）は、記録的な高温の影響もあり昨年度より336人減少しました（前年度比73.6%）が、参加団体数は昨年度とほぼ同数でした。
- ・すべての流域において水質の評価（平均値）が4点以上となり、昨年度と比べて水がきれい、環境保全の取り組みの成果が現れたものと考えられます。
- ・尾張地域では、記録的な高温の影響からか、生き物があまり見られないという意見があり、生態系の評価が昨年度よりやや低くなりましたが、水質においては昨年度と比べて評価が高くなりました。
- ・西三河地域では、流量が大きい河川の矢作川等流域である東部において、西部の境川等流域と比べ、全ての項目で評価が高い傾向となりました。また、境川等流域では、水はきれいだが水量が少ないという意見が寄せられました。
- ・東三河地域では、豊川・天竜川流域において相対的に評点が高く、項目ごとのバランスも良い結果となりました。相対的に流量が大きいほど水がきれい、川の水量が安定しており、水辺への親しみやすさを感じているのではないかと推察されます。

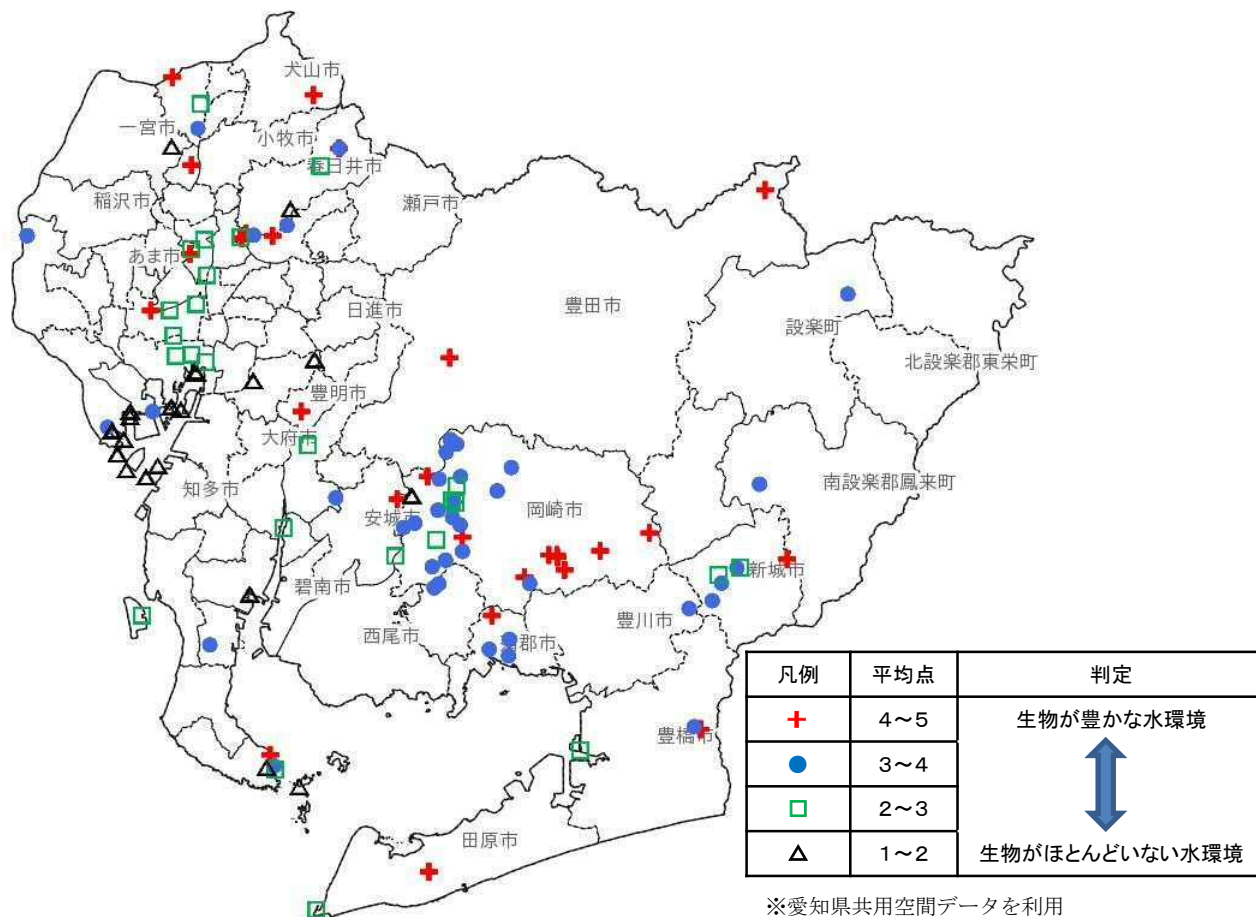
平成30年度 流域モニタリング一斉調査結果（水質）



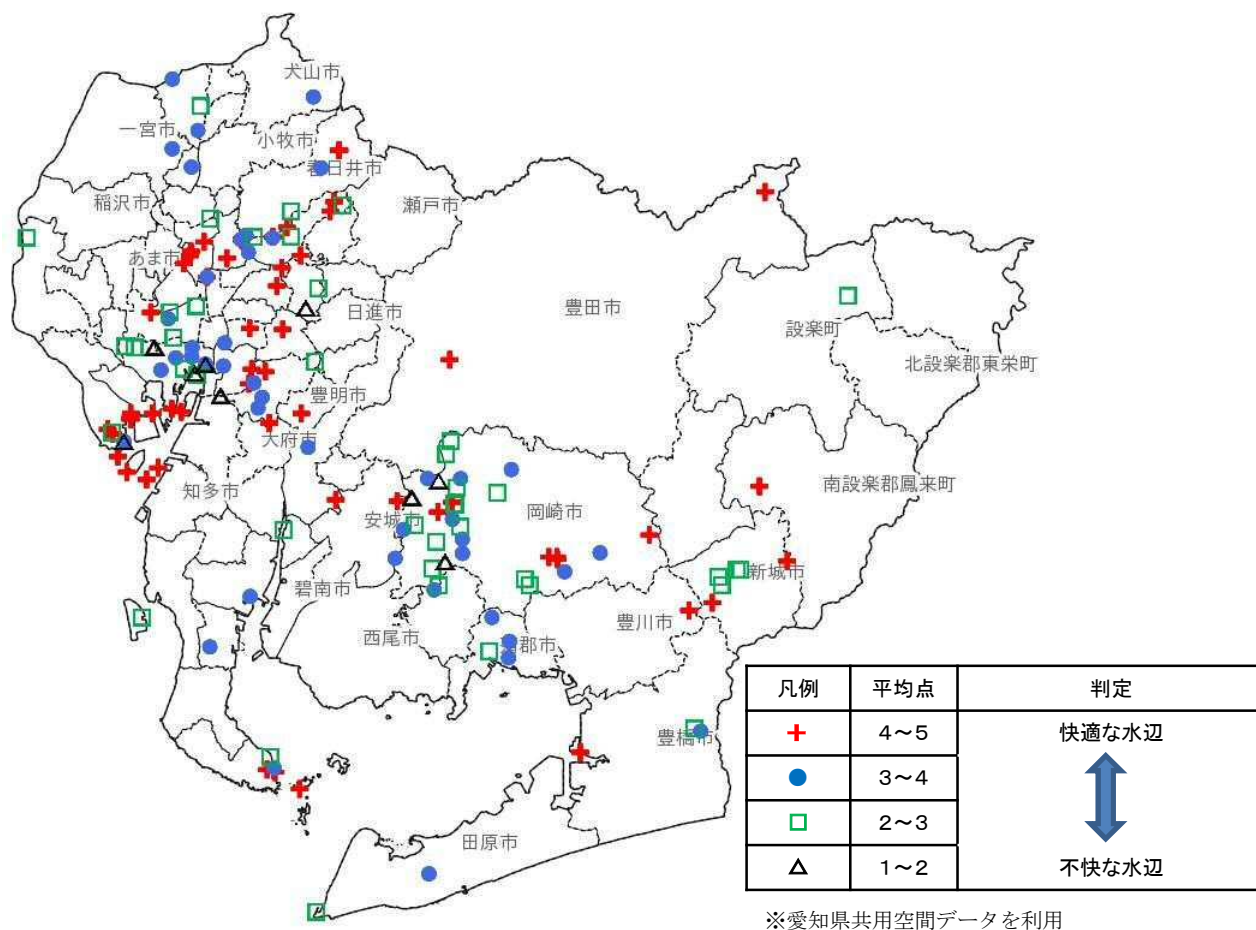
平成30年度 流域モニタリング一斉調査結果（水量）



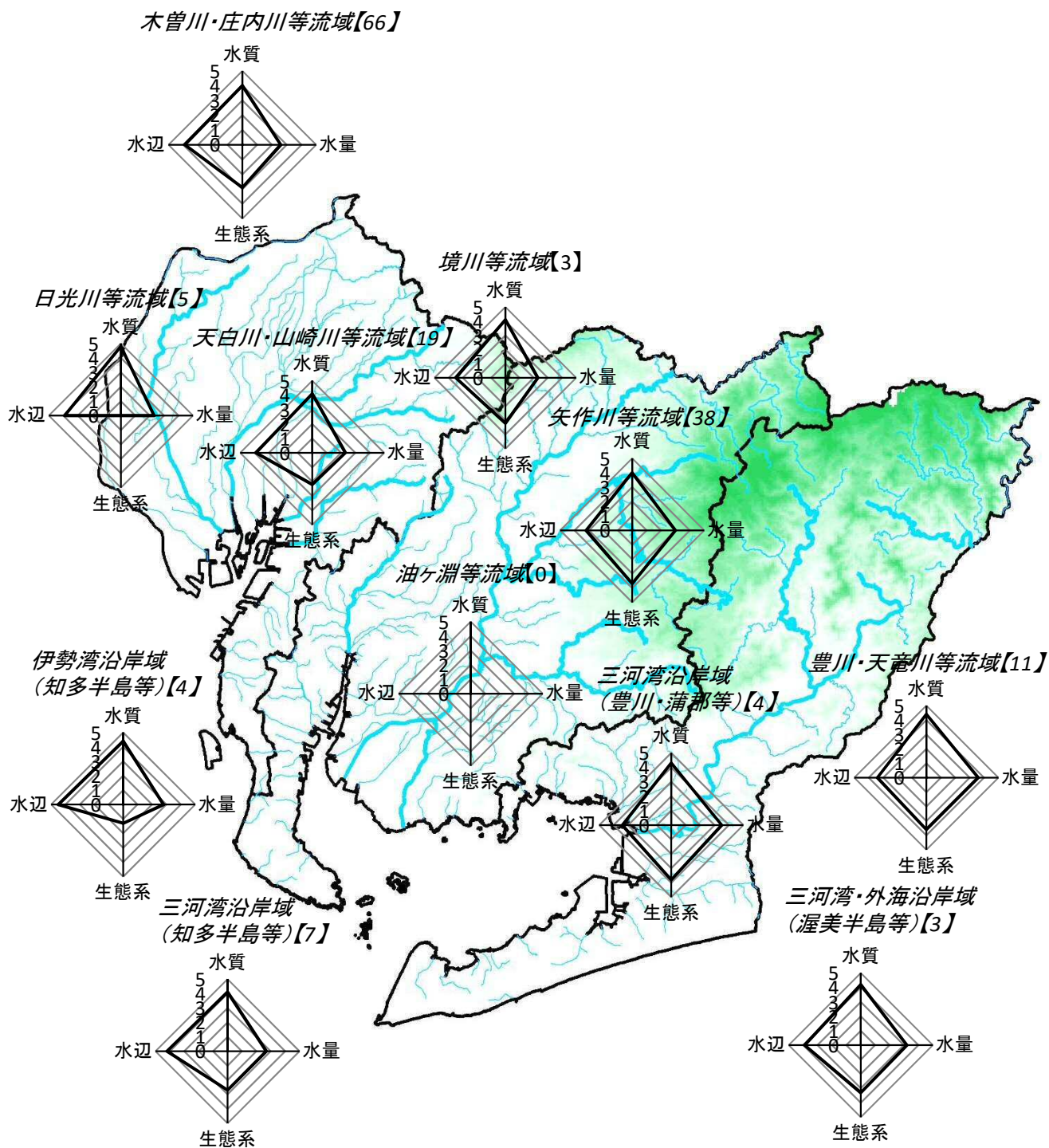
平成30年度 流域モニタリング一斉調査結果（生態系）



平成30年度 流域モニタリング一斉調査結果（水辺）



平成30年度 流域モニタリング一斉調査結果（流域別とりまとめ）



※流域名の後ろの【 】内の数字は地点数を示しています。
 ※調査項目は参加者の任意であるため、日光川等流域は水質、水量及び水辺の評価
 となっています。油ヶ淵等流域は調査を行っていません。

水循環再生のための啓発活動の実績（平成30年度）

1 水循環啓発資材

環境学習などで「健全な水循環の再生」を説明する啓発資料として、パネル、パンフレット及びビデオを用意しております。

これらの啓発資材は、水循環の健全化に向けて、県民一人ひとりができることを考えてもらう内容となっております。

パネル等は貸し出し可能ですので、それらを利用して、各種イベント等において水循環再生のPRも併せて行うことができます。

●水循環啓発パネル

- ・ 尾張・西三河・東三河地域の3地域共通の内容 3枚（A1版）
- ・ 各地域の内容 2枚（A1版）

●とりもどそうよ！健全な水じゅんかん（パンフレット）

- ・ 水循環の大切さについて小学生がわかるようにまとめてあります。

●水の調査の進め方 水循環再生指標調査マニュアル（A5版小冊子）

- ・ 水循環再生指標調査マニュアルは流域モニタリング一斉調査を行うため、写真やイラストなどを用いてまとめてあります。

●水の調査の進め方 水循環再生指標調査マニュアル（概要版）

- ・ 水循環再生指標調査マニュアルをA3版にまとめた概要版です。ポケットサイズとなっております。

●とりもどそうよ！健全な水じゅんかん（啓発ビデオ約14分）

- ・ 水循環について、循環のしくみや大切さ、健全な水循環を取り戻すための活動紹介についてまとめてあります。

2 啓発活動の実績

- 愛知県主催のイベント、愛知県の各県民プラザ、愛知県環境学習プラザ等において、パネルの展示及びパンフレットの配布を行いました。大型ショッピングセンター内においても啓発活動や、各団体のイベントと連携した啓発活動を行いました。
- 県内全体で、合計8箇所、延べ50日間啓発活動を行いました。（表1）

表 1 水循環啓発活動状況

	展示場所	展示期間	日数
1	ヴェルサウォーク西尾	5月26日～5月27日	2
2	イオンモール岡崎	6月30日	1
3	ものづくり博 2018in 東三河	6月15日～6月16日	2
4	愛知県庁連絡地下通路	7月30日～8月10日	12
5	愛知県環境学習プラザ	8月1日～8月31日	31
6	イオンモール大高	8月7日	1
7	刈谷ハイウェイオアシス	9月29日	1
8	三河湾大感謝祭	10月27日～10月28日	
計	8箇所	—	50



愛知県環境学習プラザ



愛知県庁連絡地下通路